※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０７

令和５年度　情報科

教科	普・情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情報Ⅰ NEXT　（数研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、「情報」の取り扱いを正しく理解し、「情報」を効果的に活用するための方法・手段を学習しましょう。

２　学習の到達目標

・コンピュータについて理解を深め技能を習得し、情報社会と人との関わりについて理解を深める
・情報機器を活用して、情報を適切に収集・処理・表現する能力を高める。
・情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報モラルを身に付けるとともに情報社会に積極的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	序編	情報とメディア コンピュータの活用 人と社会のかかわり	a: コンピュータを正しく準備し、活用することが出来る。 b: 情報社会に参加する上での注意点を考えることが出来る。 c: 情報とメディア関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	考査 実習	考査 実習	実習 ノート
	第一編	技術とのかかわり 法とのかかわり	a: 情報の表現方法の幅を広げる技法を使うことが出来る。 b: 情報社会に参加する上での注意点を考えることが出来る。 c: 情報化に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	考査 実習	考査 実習	実習 ノート
二学期	第二編	情報のディジタル表現 情報の表現と伝達	a: 情報の表現方法の幅を広げる技法を使うことが出来る。 b: 情報社会に参加する上での注意点を考えることが出来る。 c: 情報の表現と伝達についての関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	考査 実習	考査 実習	実習 ノート
	第三編	コミュニケーション手段の発達 インターネットのしくみ	a: 情報の表現方法の幅を広げる技法を使うことが出来る。通信技術のしくみを理解している。 b: コミュニケーションの意味を考えることが出来る。 c: 情報の表現と伝達についての関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	考査 実習	考査 実習	実習 ノート
三学期	第四編	情報社会における問題解決	a: 情報の収集に注意するべきことを理解している。 b: ネット上の情報の信憑性を考えることが出来る。 c: インターネットを活用し、必要な情報を収集することが出来る。	考査 実習	考査 実習	実習 ノート

※令和４年度以降入学生用

	第四編	情報システム	a: 情報の表現方法を理解し、活用することが出来る。 b: どのようにすれば情報が相手により伝わるかを考えることが出来る。 c: 情報のシステムに関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	考査 実習	考査 実習	実習 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度